



平成27年11月16日

各位

会社名 株式会社小僧寿し  
代表者名 代表取締役社長 磯村 明彦  
(JASDAQコード9973)  
問合せ先 取締役財務経理部長 片野 裕之  
(電話番号 03-6226-4400)

(訂正)「平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年5月15日に開示致しました「平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正を致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成27年11月16日付）「過年度決算短信等の訂正および有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年3月31日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(訂正前)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	3,241	△22.8	△181	—	△153	—	△156	—
25年12月期第1四半期	4,198	△12.1	△105	—	△91	—	△37	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △156百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△8.82	—
25年12月期第1四半期	△2.64	—

(訂正後)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	3,241	△22.8	△172	—	△144	—	△147	—
25年12月期第1四半期	4,198	△12.1	△105	—	△91	—	△37	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △147百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△8.32	—
25年12月期第1四半期	△2.64	—

## (2) 連結財政状態

(訂正前)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	3,259	858	26.2	48.20
25年12月期	4,237	1,019	23.9	57.02

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 855百万円 25年12月期 1,011百万円

(訂正後)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	3,269	871	26.6	48.91
25年12月期	4,238	1,023	24.0	57.23

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 868百万円 25年12月期 1,015百万円

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

(訂正前)

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、海外の景況悪化等の不安要因があるものの、政府の経済政策や4月からの消費税増税前の駆け込み需要の動き等により、緩やかながらも回復基調で推移いたしました。

一方外食産業におきましては、相次ぐ原材料価格の高騰や根強い消費者の節約志向の中で、さらに消費税増税が消費マインドに影響してくることも考えられ、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは中期経営計画に基づき、当社の主軸である持ち帰り寿し事業、特に直営店舗の建て直しを優先的に図り、営業キャッシュフローの健全化を図るべく各種施策を進めてまいりました。

競合他社や利便性の面で縮小してきた商圈に対処し、潜在顧客の発掘、お客様の利用頻度増加を図るために、当社の基盤である既存の持ち帰り寿し店舗への宅配機能付加を進めております。平成25年度には14店舗に宅配システムを導入し、当第1四半期連結累計期間におきましては2店舗の導入に留まりましたが、4～5月において10店舗の導入を計画しており、今期36店舗が新たに宅配機能併設店舗となる予定です。

また、顧客満足度の向上と新規顧客の取り込みを目的として、市場仕入の鮮魚の取扱い、付加価値のある商材の投入を開始するにあたり、市場での一次加工、食材加工場での二次加工を行うための拠点整備を行うとともに、コストダウンのための配送拠点や業者の見直しも実施してまいりました。

以上の政策を主体に中期経営計画を進めてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、第一四半期に進めた施策の効果が出るのが4月以降であること、2月の2度にわたる記録的な大雪が店舗売上高に大きく影響したこと等により、既存店売上前年比が93.5%となりました。また社員独立等による直営店舗のFC店舗への転換や不採算店舗の閉鎖により前年同期比で直営店舗数が65店舗減じたこと等により、売上高は32億41百万円（前年同期比22.8%減）となりました。営業損益及び経常損益につきましては、在庫削減に努めた一方商材価格の高騰もあり、営業損失は1億81百万円（前年同期は1億5百万円の営業損失）、経常損失は1億53百万円（前年同期は91百万円の経常損失）となっております。また、四半期純損失は1億56百万円（前年同期は37百万円の四半期純損失）となりました。

(訂正後)

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、海外の景況悪化等の不安要因があるものの、政府の経済政策や4月からの消費税増税前の駆け込み需要の動き等により、緩やかながらも回復基調で推移いたしました。

一方外食産業におきましては、相次ぐ原材料価格の高騰や根強い消費者の節約志向の中で、さらに消費税増税が消費マインドに影響してくることも考えられ、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは中期経営計画に基づき、当社の主軸である持ち帰り寿し事業、特に直営店舗の建て直しを優先的に図り、営業キャッシュフローの健全化を図るべく各種施策を進めてまいりました。

競合他社や利便性の面で縮小してきた商圈に対処し、潜在顧客の発掘、お客様の利用頻度増加を図るために、当社の基盤である既存の持ち帰り寿し店舗への宅配機能付加を進めております。平成25年度には14店舗に宅配システムを導入し、当第1四半期連結累計期間におきましては2店舗の導入に留まりましたが、4～5月において10店舗の導入を計画しており、今期36店舗が新たに宅配機能併設店舗となる予定です。

また、顧客満足度の向上と新規顧客の取り込みを目的として、市場仕入の鮮魚の取扱い、付加価値のある商材の投入を開始するにあたり、市場での一次加工、食材加工場での二次加工を行うための拠点整備を行うとともに、コストダウンのための配送拠点や業者の見直しも実施してまいりました。

以上の政策を主体に中期経営計画を進めてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、第一四半期に進めた施策の効果が出るのが4月以降であること、2月の2度にわたる記録的な大雪が店舗売上高に大きく影響したこと等により、既存店売上前年比が93.5%となりました。また社員独立等による直営店舗のFC店舗への転換や不採算店舗の閉鎖により前年同期比で直営店舗数が65店舗減じたこと等により、売上高は32億41百万円（前年同期比22.8%減）となりました。営業損益及び経常損益につきましては、在庫削減に努めた一方商材価格の高騰もあり、営業損失は1億72百万円（前年同期は1億5百万円の営業損失）、経常損失は1億44百万円（前年同期は91百万円の経常損失）となっております。また、四半期純損失は1億47百万円（前年同期は37百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は32億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億78百万円の減少となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金が2億56百万円、商品が3億1百万円、現金及び預金が3億81百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は24億円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金が5億36百万円、未払金が1億33百万円減少したこと等によるものです。

株主資本は、当第1四半期連結累計期間の業績を反映して1億56百万円減少し、8億55百万円となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は32億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億69百万円の減少となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金が2億56百万円、商品が3億1百万円、現金及び預金が3億81百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は23億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金が5億36百万円、未払金が1億33百万円減少したこと等によるものです。

株主資本は、当第1四半期連結累計期間の業績を反映して1億47百万円減少し、8億68百万円となりました。

#### 4. 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,037,743	656,536
受取手形及び売掛金	622,633	366,512
商品	724,862	423,666
貯蔵品	34,431	32,970
その他	<u>339,665</u>	<u>298,210</u>
貸倒引当金	<u>△100,251</u>	<u>△97,016</u>
流動資産合計	<u>2,659,084</u>	<u>1,680,879</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,724,762	1,721,715
減価償却累計額	<u>△1,724,569</u>	<u>△1,717,058</u>
建物及び構築物（純額）	<u>193</u>	<u>4,657</u>
機械装置及び運搬具	56,615	56,615
減価償却累計額	<u>△56,615</u>	<u>△56,615</u>
機械装置及び運搬具（純額）	<u>—</u>	<u>—</u>
工具、器具及び備品	743,980	744,751
減価償却累計額	<u>△743,229</u>	<u>△740,961</u>
工具、器具及び備品（純額）	<u>751</u>	<u>3,789</u>
土地	324,795	324,795
リース資産	26,300	26,300
減価償却累計額	<u>△8,800</u>	<u>△10,923</u>
リース資産（純額）	<u>17,500</u>	<u>15,377</u>
建設仮勘定	<u>—</u>	<u>207</u>
有形固定資産合計	<u>343,239</u>	<u>348,826</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	7,282	7,232
敷金及び保証金	1,053,250	1,048,069
長期前払費用	11,642	12,477
破産債権等に準ずる債権	323,565	323,602
その他	69,039	64,378
貸倒引当金	<u>△229,463</u>	<u>△226,373</u>
投資その他の資産合計	<u>1,235,317</u>	<u>1,229,387</u>
固定資産合計	<u>1,578,557</u>	<u>1,578,214</u>
資産合計	<u>4,237,642</u>	<u>3,259,093</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,057,843	521,436
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	201,200	201,200
リース債務	8,916	8,916
未払金	682,128	548,556
未払法人税等	69,399	6,774
賞与引当金	5,643	20,366
資産除去債務	4,978	3,617
その他	197,557	155,381
流動負債合計	2,427,667	1,666,248
固定負債		
長期借入金	174,200	123,900
リース債務	31,923	29,694
長期未払金	8,585	7,831
資産除去債務	375,043	376,019
その他	200,805	196,589
固定負債合計	790,557	734,034
負債合計	3,218,225	2,400,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,307	2,019,307
資本剰余金	771,788	771,788
利益剰余金	△1,771,867	△1,928,336
自己株式	△7,315	△7,338
株主資本合計	1,011,913	855,421
新株予約権	7,503	3,388
純資産合計	1,019,416	858,810
負債純資産合計	4,237,642	3,259,093

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,037,743	656,536
受取手形及び売掛金	622,633	366,512
商品	724,862	423,666
貯蔵品	34,431	32,970
その他	<u>340,720</u>	<u>308,129</u>
貸倒引当金	<u>△100,251</u>	<u>△97,016</u>
流動資産合計	<u>2,660,140</u>	<u>1,690,798</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,724,762	1,721,715
減価償却累計額	<u>△1,724,569</u>	<u>△1,717,058</u>
建物及び構築物 (純額)	193	4,657
機械装置及び運搬具	56,615	56,615
減価償却累計額	<u>△56,615</u>	<u>△56,615</u>
機械装置及び運搬具 (純額)	—	—
工具、器具及び備品	743,980	744,751
減価償却累計額	<u>△743,229</u>	<u>△740,961</u>
工具、器具及び備品 (純額)	751	3,789
土地	324,795	324,795
リース資産	26,300	26,300
減価償却累計額	<u>△8,800</u>	<u>△10,923</u>
リース資産 (純額)	17,500	15,377
建設仮勘定	—	207
有形固定資産合計	<u>343,239</u>	<u>348,826</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	7,282	7,232
敷金及び保証金	1,053,250	1,048,069
長期前払費用	11,642	12,477
破産債権等に準ずる債権	323,565	323,602
その他	69,039	64,378
貸倒引当金	<u>△229,463</u>	<u>△226,373</u>
投資その他の資産合計	<u>1,235,317</u>	<u>1,229,387</u>
固定資産合計	<u>1,578,557</u>	<u>1,578,214</u>
資産合計	<u>4,238,697</u>	<u>3,269,013</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054,889	518,059
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	201,200	201,200
リース債務	8,916	8,916
未払金	682,128	548,556
未払法人税等	69,399	6,774
賞与引当金	5,643	20,366
資産除去債務	4,978	3,617
その他	197,748	156,014
流動負債合計	2,424,903	1,663,505
固定負債		
長期借入金	174,200	123,900
リース債務	31,923	29,694
長期未払金	8,585	7,831
資産除去債務	375,043	376,019
その他	200,805	196,589
固定負債合計	790,557	734,034
負債合計	3,215,461	2,397,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,307	2,019,307
資本剰余金	771,788	771,788
利益剰余金	△1,768,048	△1,915,673
自己株式	△7,315	△7,338
株主資本合計	1,015,732	868,084
新株予約権	7,503	3,388
純資産合計	1,023,235	871,473
負債純資産合計	4,238,697	3,269,013



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	4,198,768	3,241,011
売上原価	1,858,232	<u>1,671,519</u>
売上総利益	2,340,536	<u>1,569,491</u>
販売費及び一般管理費	2,445,715	1,751,281
営業損失(△)	<u>△105,178</u>	<u>△181,789</u>
営業外収益		
受取利息	332	251
受取配当金	—	19,115
受取賃貸料	39,157	56,435
その他	18,764	17,778
営業外収益合計	58,254	93,580
営業外費用		
支払利息	4,667	2,800
貸資産関連費用	37,342	47,631
その他	2,091	15,167
営業外費用合計	44,101	65,600
経常損失(△)	<u>△91,025</u>	<u>△153,809</u>
特別利益		
関係会社株式売却益	290,874	—
新株予約権戻入益	4,114	4,114
特別利益合計	294,988	4,114
特別損失		
固定資産除却損	1,896	255
減損損失	12,883	—
早期割増退職金	202,574	—
解約違約金	—	3,650
その他	—	50
特別損失合計	217,354	3,955
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△13,391</u>	<u>△153,649</u>
法人税、住民税及び事業税	23,871	2,819
法人税等合計	23,871	2,819
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△37,263</u>	<u>△156,468</u>
四半期純損失(△)	<u>△37,263</u>	<u>△156,468</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	4,198,768	3,241,011
売上原価	1,858,232	<u>1,662,675</u>
売上総利益	2,340,536	<u>1,578,335</u>
販売費及び一般管理費	2,445,715	1,751,281
営業損失(△)	<u>△105,178</u>	<u>△172,945</u>
営業外収益		
受取利息	332	251
受取配当金	—	19,115
受取賃貸料	39,157	56,435
その他	18,764	17,778
営業外収益合計	<u>58,254</u>	<u>93,580</u>
営業外費用		
支払利息	4,667	2,800
賃貸資産関連費用	37,342	47,631
その他	2,091	15,167
営業外費用合計	<u>44,101</u>	<u>65,600</u>
経常損失(△)	<u>△91,025</u>	<u>△144,965</u>
特別利益		
関係会社株式売却益	290,874	—
新株予約権戻入益	4,114	4,114
特別利益合計	<u>294,988</u>	<u>4,114</u>
特別損失		
固定資産除却損	1,896	255
減損損失	12,883	—
早期割増退職金	202,574	—
解約違約金	—	3,650
その他	—	50
特別損失合計	<u>217,354</u>	<u>3,955</u>
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△13,391</u>	<u>△144,805</u>
法人税、住民税及び事業税	23,871	2,819
法人税等合計	23,871	2,819
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△37,263</u>	<u>△147,624</u>
四半期純損失(△)	<u>△37,263</u>	<u>△147,624</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,263	△156,468
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△37,263	△156,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,263	△156,468

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,263	△147,624
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△37,263	△147,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,263	△147,624

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(訂正前)

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント利益又は損失(△)	<u>△37,662</u>	<u>16,913</u>	<u>△20,748</u>	△161,041	<u>△181,789</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用161,041千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント利益又は損失(△)	<u>△30,961</u>	<u>19,057</u>	<u>△11,904</u>	△161,041	<u>△172,945</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用161,041千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。